

平成 29 年 7 月 11 日

平成 29 年度農村生態工学研究部会 現地研修 開催案内

農村生態工学研究部会では毎年、農村生態系の保全に関する取り組み事例の現地研修を行っています。本年度の現地研修については、神奈川県県央地域県政総合センターの鍋田英二氏（農政部農地課長）のご協力を得て、相模川の磯部頭首工（相模原市）にて開催いたします。

研修内容

磯部頭首工は、神奈川県中央部を南北に流れる相模川を水源とする県下最大の頭首工（農業用）です。磯部頭首工では、生態系への配慮から既設魚道と新設魚道をそれぞれ整備しています。魚道整備における主要対象魚種はアユを代表に 12 種として、複合多自然自然階段式、アイスハーバ、バーチカルスロットの 3 つの魚道を並列にしています。また、頭首工公園や井筒の記念碑造成など、地域住民が施設に愛着が持てるように総合的な頭首工整備を実施しています。なお、磯部頭首工と魚道に関しては、水土の知 7 月号に表紙の写真とともに解説記事が掲載されています。詳しくはそちらをご覧ください。

魚道見学の後は、泉橋酒造（海老名市）に移動し、環境保全型水田（赤とんぼ米水田）と酒蔵見学を行います。夏ヤゴ（冷酒）や黒トンボ（燗酒）など全国的に人気の高い日本酒と、赤とんぼ米を用いた酒造りと環境保全型農業について説明していただく予定です。

主 催 公益社団法人 農業農村工学会 農村生態工学研究部会

開催日時 平成 29 年 9 月 1 日（金）
9：00（集合：藤沢駅）～12：50（解散：海老名駅）
※昼食は、解散後に各自お取りください。

開催場所 神奈川県相模原市、海老名市
*天候によっては、現地見学の場所を変更する場合があります。

対象者 農業農村工学会会員、農業土木技術者、農地・水等交付金活動組織の構成員、自治体職員、その他農村環境の保全に関心のある方

参加費用 1000 円（現地交通費として。集合時に徴収いたします。*学生は無料。）
※集合場所までの交通費及び宿泊される方の宿泊費は各自お支払いください。

参加申込 農村生態工学研究部会事務局まで、メールまたは FAX にてお申込みください。
お申込みの際は、お名前、ご所属、当日つながる電話番号をお知らせください。
※申込み締め切り 7 月 28 日（金）ただし、定員になりしだい締め切ります。

問合せ先 農村生態工学研究部会事務局 神宮字寛（宮城大学）
電話 022-245-1450 FAX 022-245-1450
E-mail jinguji☆myu.ac.jp（☆を@に換えてください）